

医療問題研究部会

2025年度

部会長	池田 淳	(マルホ株式会社)
副部会長	山本 隆司	(日本化薬株式会社)
	長野 正義	(株式会社ツムラ)
会計	吉田 晃子	(旭化成ファーマ株式会社)

医療問題研究部会とは

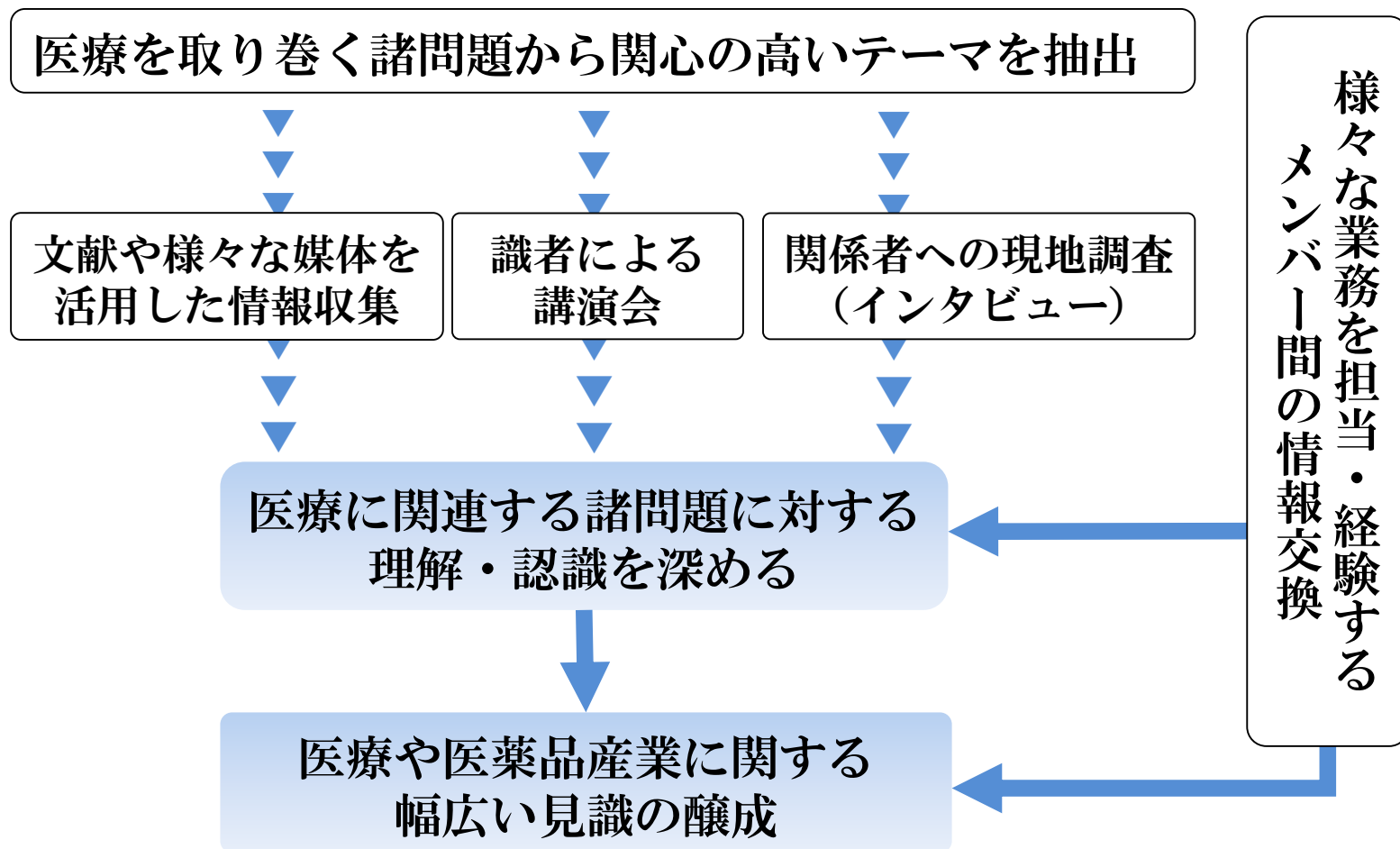
医療問題研究部会は、主に医療制度に関する問題に焦点を当て、調査・研究を行っています。

我が国は、国民皆保険という方針の下、誰もが質の高い医療を受けることができる優れた医療保険制度を構築してきました。しかしながら、近い将来、未曾有の少子高齢化社会が到来を前にし、このままでは現在の制度を維持することは不可能と言われ、薬機法や年金法の改正など様々な改革が待ったなしの状況で行われています。

将来に亘って有効な医療保険制度を維持するため、医療をめぐる諸制度が新たな方向へ大きく舵が切られた時に、医療・介護に係る現場は今まで以上に大きな変革の波にさらされることが予想されます。

医療問題研究部会では、このような医療・介護を取り巻く制度が大きく変化する中で、様々な視点からテーマを取り上げ、「現場・現物・現実」の三現主義で、医療制度等が医薬品関連企業に及ぼす影響の調査・研究を行っています。

医療問題研究部会の活動について



過去の研究テーマ

- 2024年 選定療養について
- 2023年 ヘルスケアDXを含む、医療における労働生産性
- 2022年 看護師の研究
- 2021年 医療のオンライン化について
- 2020年 病院経営について ～DPC制度を中心に～
- 2019年 薬剤師・薬局を取り巻く最新事情（現状と今後）について
- 2018年 医療・介護制度改革後の最新事情について ～ライフサイクルの視点から～
- 2017年 地域包括ケアシステムの最新事情について
- 2016年 地域医療連携の新たな取り組み ～地域医療連携推進法人を中心に～
- 2015年 薬学教育6年制の現状と課題
- 2014年 医療分野の産学官連携
- 2013年 医療分野のIT化
- 2012年 在宅医療推進の現状
- 2011年 医療の評価の現状と課題
- 2010年 コメディカルの業務拡大の可能性とチーム医療推進

2024年度 活動内容

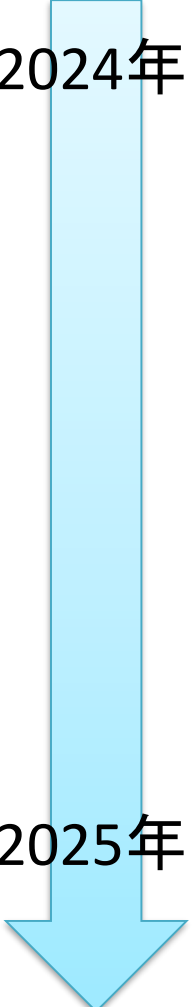
2024年度 研究テーマ 「選定療養について」

医療用医薬品の業界は大きな転換点を迎えています。2024年10月からは選定療養の仕組みが医薬品にも導入されています。

この仕組みにより医薬品の業界だけではなく、医療機関・患者に対しても大きな影響を及ぼすことが引き続き予想されます。

選定療養の仕組みとはどのようなものなのか、その根拠及び具体的にどのような影響を及ぼす（及ぼしている）のかについて研究することにより、企業だけではなく業界として取るべき方向性が見えてくると考え、当部会方針である「現場・現物・現実」の三現主義に基づいた活動を行いつつ、これまで培った調査分析手法も取り入れ、テーマをさらに深く掘り下げて研究を行いました。

年間スケジュール（2024年度）



2024年	3月	研究テーマ選定
	4月	研究テーマの全体論検討
	5～7月	各グループに分かれ、研究
	8月	各グループの研究内容発表
	9月	月例会発表（中間発表）
	10月	下期研究内容検討
	11月	下期研究
	12月	関係者インタビュー（病院事務長）
2025年	1月	部会主催講演会
	2月	研究まとめ（LM誌）・次年度テーマ検討

部会の開催について

開催方法
ハイブリッド開催

開催日
毎月第二金曜
（2025年度については別日で検討中）
懇親会も定期的に開催しています。

当部会は、年間で1つのテーマを調査・研究しています

興味がある方、お気軽にお声がけください。
ご参加お待ちしております。
